

### 3 特別会計及び企業会計の決算状況

特別会計全体の歳出決算は、表 38 のとおり、96 億円となりました。

企業会計である水道事業会計の決算は、表 39 のとおり、損益計算においては、収益が 8 億 8 千万円で、費用は 7 億 9 千万円となり、当年度純利益が 9 千万円、当年度未処分利益剰余金が 3 億 7 千万円となりました。

主な理由については、各会計の決算状況をご覧ください。

表38 特別会計の決算状況

(単位：千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	一般会計からの繰入金	一般会計への繰出金
農業公園事業	138,331	118,293	0	0
国民健康保険	4,601,687	4,243,822	241,882	0
後期高齢者医療	809,190	799,321	482,446	40,653
介護保険	2,705,165	2,610,553	429,610	17,952
農業集落排水事業	272,086	244,907	186,808	0
下水道事業	1,728,933	1,611,736	1,014,061	0
合 計	10,255,392	9,628,633	2,354,807	58,605

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

表39 企業会計の決算状況

(単位：千円)

区 分	収益的収入	収益的支出	一般会計からの補助金
水道事業	883,178	793,688	61,432

## (1) 農業公園事業特別会計の決算状況

平成24年度の歳入決算額は、1億4千万円で前年度に比べ1千5百万円（11.8%）の増となりました。歳出決算額は、1億2千万円で、前年度に比べ7百万円の増となりました。

歳入は、前年度繰越金（1千2百万円）が減となりましたが、ぼたんまつり入園料や梅まつり入園料、クラインガルデン使用料の増等による使用料及び手数料（2千万円）、農業公園整備基金繰入（5百万円）、辺地対策事業債の借入が増となったことなどにより、1千5百万円の増となりました。

歳出は、職員人件費、農業公園施設整備事業、高齢者社会参加促進事業が増となったことなどにより、7百万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表40、図14をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図15をご覧ください。

表40 農業公園事業特別会計の決算状況

### 歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A - B	伸び率 (A-B)/B
負担金及び分担金	943	0.7	995	0.8	△ 52	△ 5.2
使用料及び手数料	50,758	36.7	30,112	24.3	20,646	68.6
財 産 収 入	10,842	7.8	10,479	8.5	363	3.5
繰 入 金	20,000	14.5	15,000	12.1	5,000	33.3
繰 越 金	12,335	8.9	24,478	19.8	△ 12,143	△ 49.6
諸 収 入	40,654	29.4	42,660	34.5	△ 2,006	△ 4.7
市 債	2,800	2.0	0	0.0	2,800	皆増
歳 入 合 計	138,331	100.0	123,723	100.0	14,608	11.8

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

### 歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A - B	伸び率 (A-B)/B
農業公園事業費	118,293	100.0	111,387	100.0	6,906	6.2
歳 出 合 計	118,293	100.0	111,387	100.0	6,906	6.2

図14 農業公園事業特別会計の科目別決算状況

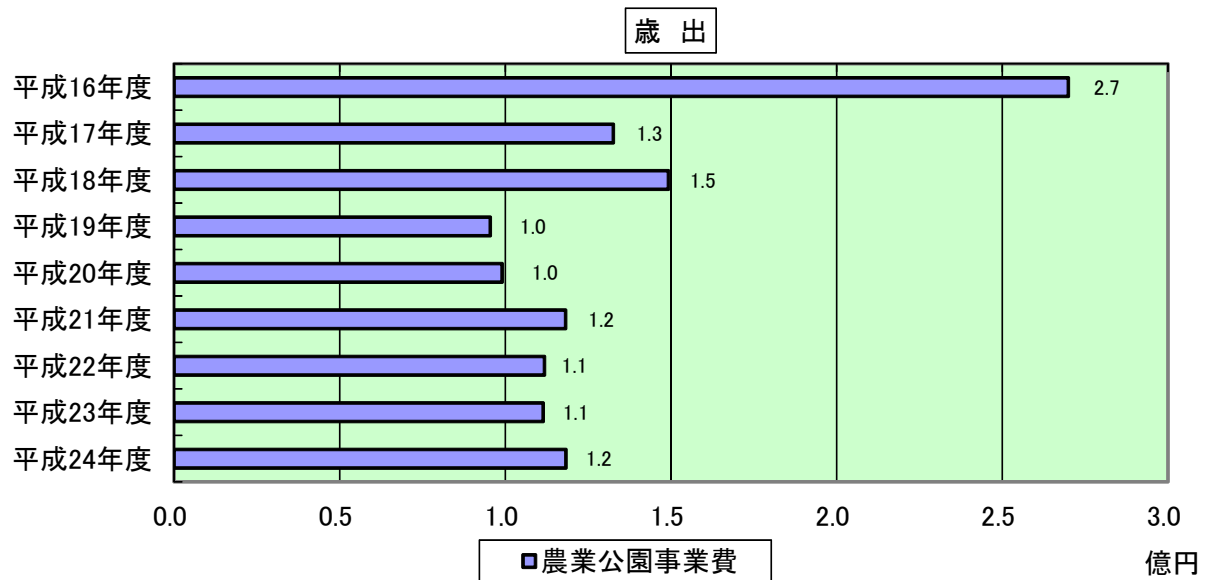
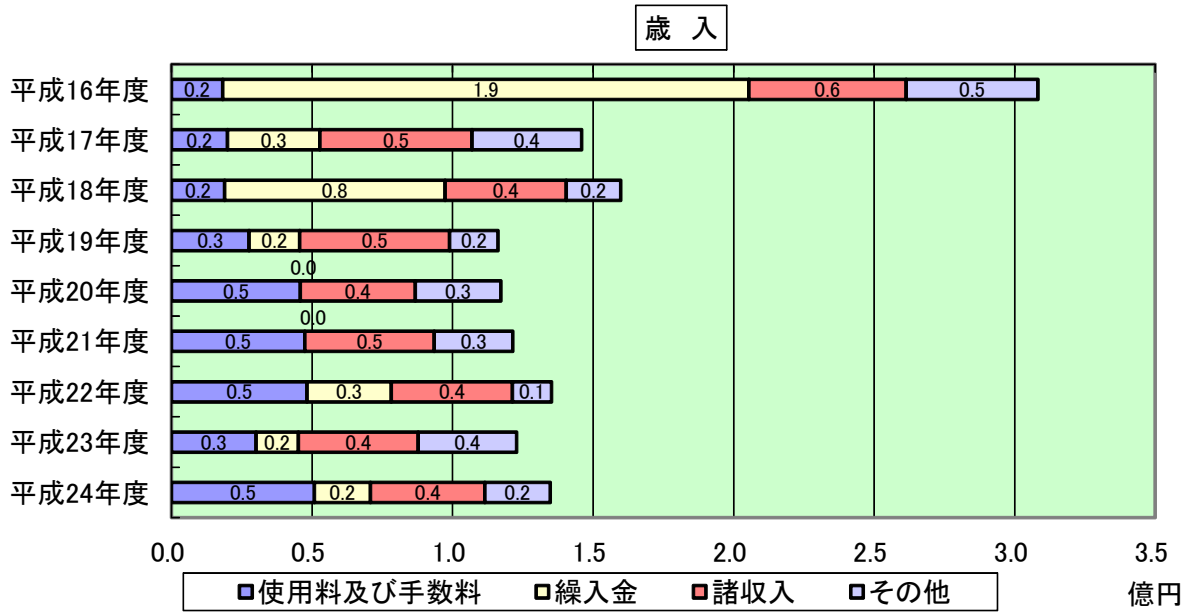
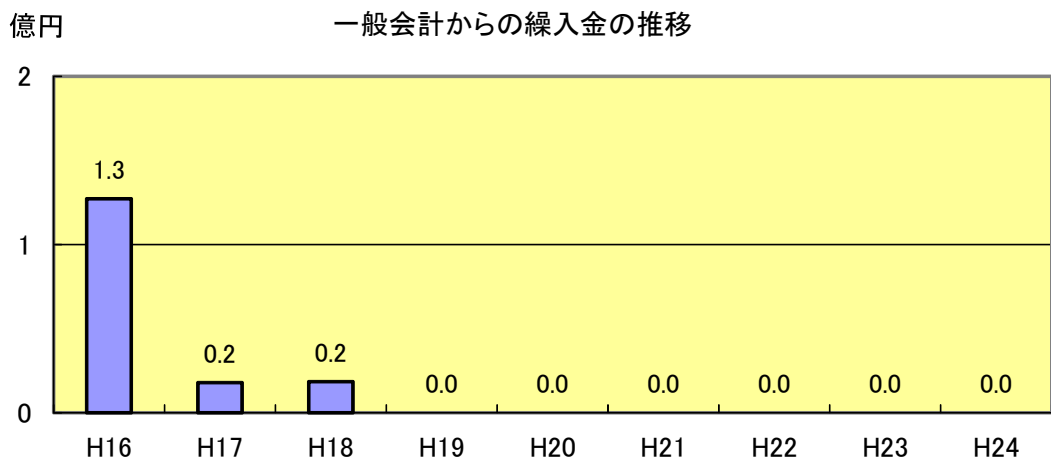


図15 一般会計からの繰入金の推移



## (2) 国民健康保険特別会計の決算状況

平成24年度の歳入決算額は、46億円で前年度と比べ7千8百万円(1.7%)の増となりました。歳出決算額は、42億4千万円で前年度に比べ5千4百万円(1.3%)の増となりました。

歳入は、療養給付費交付金(6千5百万円)、65歳から74歳の前期高齢者交付金(1億2千万円)、基金繰入金(4千万円)、一般被保険者第三者納付金や老人保健医療費拠出金過年度還付金等の諸収入(1千5百万円)が減となりましたが、国民健康保険料(2千万円)、療養給付費等負担金や財政調整交付金等の国庫支出金(1億5千万円)、共同事業交付金(1億2千万円)が増となったことなどにより7千8百万円の増となりました。

歳出は、連合会負担金などの総務費(3百万円)、保険料還付事務費や負担金などの諸支出金(2千8百万円)が減となりましたが、保険給付費(1千7百万円)、後期高齢者支援負担金(4千万円)が増となったことなどにより、5千4百万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表41、図16をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図17をご覧ください。

表41 国民健康保険特別会計の決算状況

### 歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
国民健康保険料	1,011,142	22.0	990,178	21.9	20,964	2.1
一部負担金	0	0.0	0	0.0	0	-
使用料及び手数料	267	0.0	279	0.0	△12	△4.3
国庫支出金	831,514	18.1	677,246	15.0	154,268	22.8
療養給付費交付金	324,094	7.0	389,972	8.6	△65,878	△16.9
前期高齢者交付金	1,203,605	26.2	1,319,066	29.2	△115,461	△8.8
県支出金	191,123	4.2	163,323	3.6	27,800	17.0
共同事業交付金	456,331	9.9	332,192	7.3	124,139	37.4
繰入金	241,882	5.3	282,636	6.2	△40,754	△14.4
繰越金	333,440	7.2	345,134	7.6	△11,694	△3.4
諸収入	8,290	0.2	23,407	0.5	△15,117	△64.6
歳入合計	4,601,687	100.0	4,523,434	100.0	78,253	1.7

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

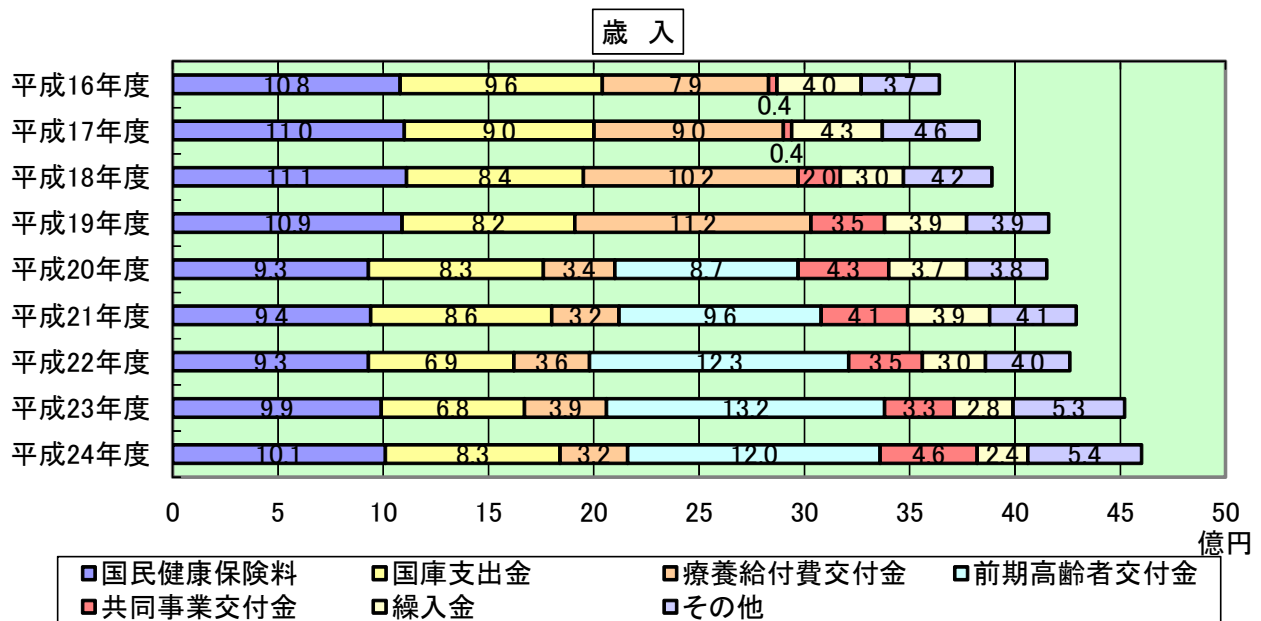
歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成 24 年度		平成 23 年度		比 較	
	決 算 額 A	構 成 比	決 算 額 B	構 成 比	増 減 A - B	伸 び 率 (A-B)/B
総 務 費	70,980	1.7	74,086	1.8	△ 3,106	△ 4.2
保 険 給 付 費	3,001,052	70.7	2,984,061	71.2	16,991	0.6
老人保健拠出金	25	0.0	29	0.0	△ 4	△ 13.8
後期高齢者支援金	522,344	12.3	481,179	11.5	41,165	8.6
前期高齢者納付金	552	0.0	1,425	0.0	△ 873	△ 61.3
介 護 納 付 金	218,549	5.1	200,610	4.8	17,939	8.9
共 同 事 業 拠 出 金	394,319	9.3	385,159	9.2	9,160	2.4
保 健 事 業 費	31,736	0.7	31,340	0.7	396	1.3
公 債 費	0	0.0	0	0.0	0	-
諸 支 出 金	4,266	0.1	32,105	0.8	△ 27,839	△ 86.7
歳 出 合 計	4,243,822	100.0	4,189,994	100.0	53,828	1.3

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図16 国民健康保険特別会計の科目別決算状況



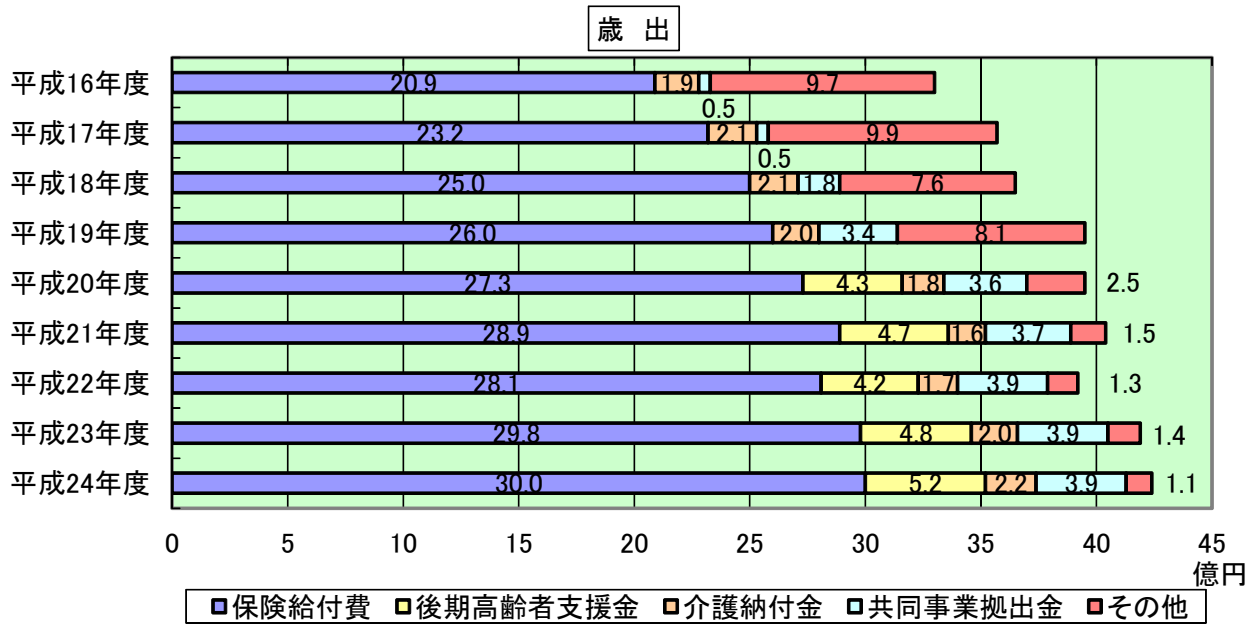
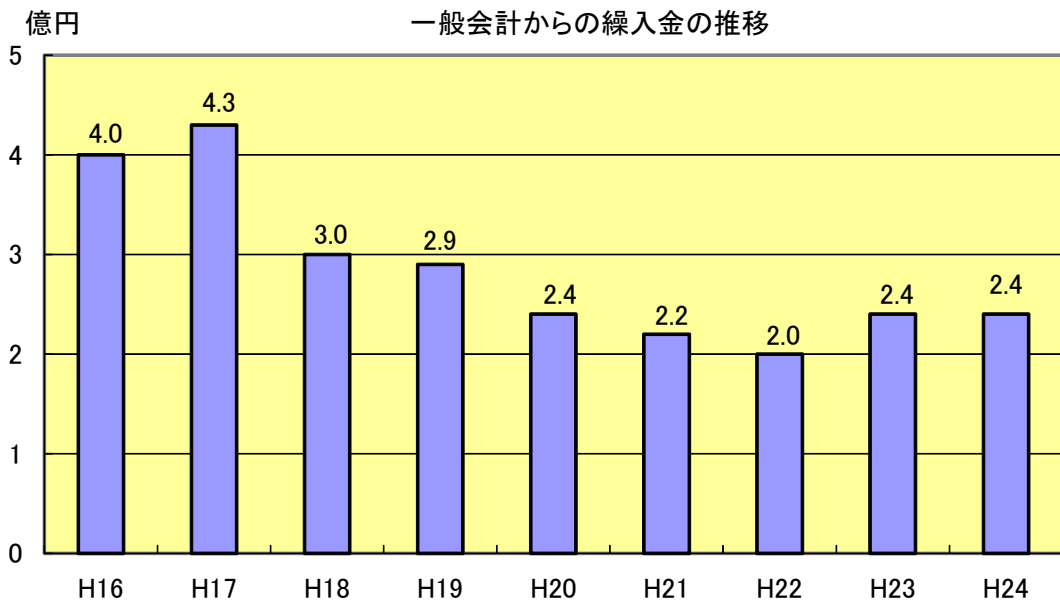


図17 一般会計からの繰入金の推移



### (3) 後期高齢者医療特別会計の決算状況

平成24年度の歳入決算額は、8億1千万円で前年度に比べ3千3百万円(4.2%)の増となりました。歳出決算額は、8億円で前年度に比べ3千万円(4.0%)の増となりました。

歳入は、一般会計繰入金(4百万円)が減となりましたが、後期高齢者医療保険料(2千6百万円)、療養給付費負担金過年度返還金等の諸収入(1千万円)が増となったことにより、3千万円の増となりました。

歳出は、制度の運営をおこなう三重県後期高齢者医療広域連合への納付金(2千3百万円)、一般会計への繰入金等の増により諸支出金(6百万円)が増となったことにより、3千万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表42、図18をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図19をご覧ください。

表42 後期高齢者医療特別会計の決算状況

#### 歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決 算 額 A	構成比	決 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
後期高齢者医療 保 険 料	279,634	34.6	253,991	32.7	25,643	10.1
使用料及び手数料	56	0.0	55	0.0	1	1.8
繰 入 金	482,446	59.6	486,020	62.6	△ 3,574	△ 0.7
繰 越 金	7,491	0.9	6,488	0.8	1,003	15.5
諸 収 入	39,564	4.9	29,878	3.8	9,686	32.4
歳 入 合 計	809,190	100.0	776,433	100.0	32,757	4.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

#### 歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決 算 額 A	構成比	決 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
総 務 費	20,386	2.6	18,497	2.4	1,889	10.2
後期高齢者医療 広域連合納付金	738,031	92.3	715,498	93.0	22,533	3.1
諸 支 出 金	40,905	5.1	34,947	4.5	5,958	17.0
歳 出 合 計	799,322	100.0	768,942	100.0	30,380	4.0

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図18 後期高齢者医療特別会計の科目別決算状況

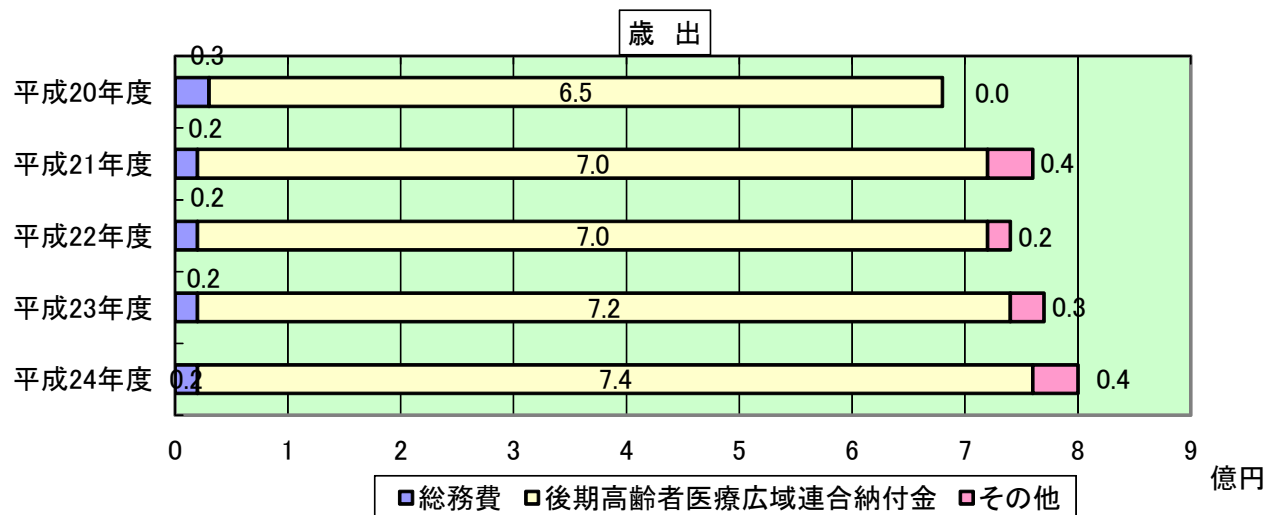
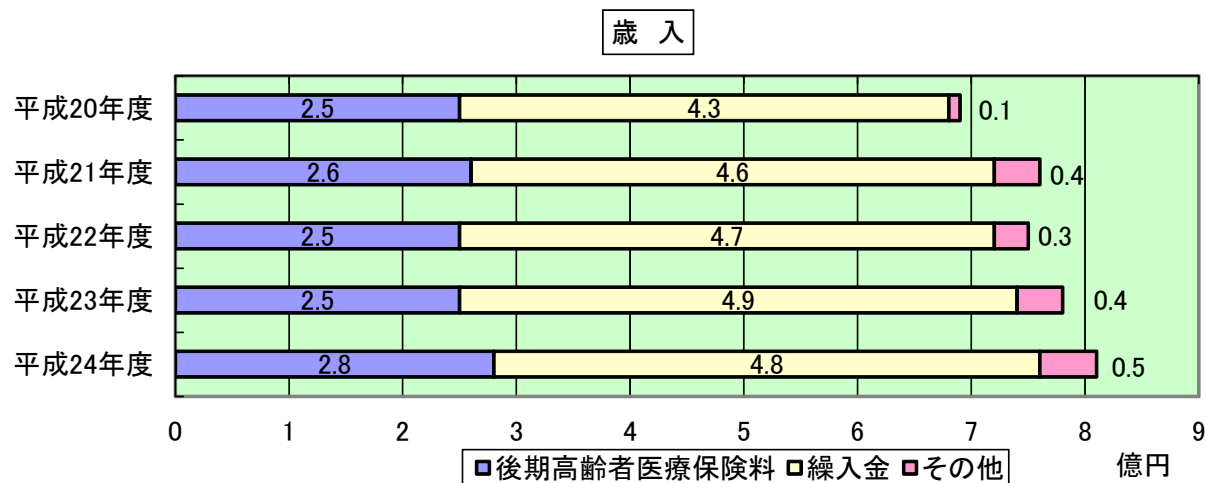
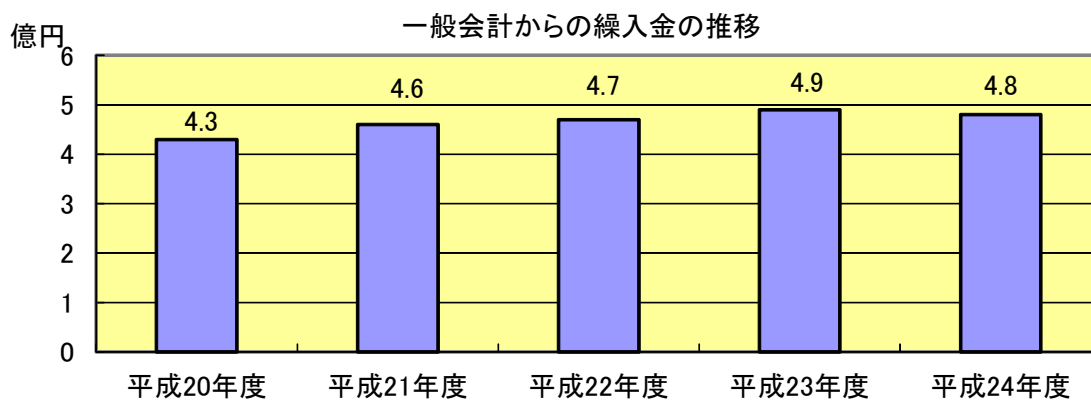


図19 一般会計からの繰入金の推移





#### (4) 介護保険特別会計の決算状況

平成24年度の歳入決算額は、27億円で前年度に比べ2億1千万円(8.4%)の増となりました。歳出決算額は、26億1千万円で前年度に比べ1億5千万円(6.2%)の増となりました。

歳入は、繰越金(6千万円)が減となりましたが、保険料(8千万円)、介護給付費負担金などの国庫支出金(4千万円)、介護給付費交付金などの支払基金交付金(7千万円)、介護給付費負担金等の県支出金(6千万円)が増となったことにより、2億1千万円の増となりました。

歳出は、過年度返還金等の諸支出金が2千6百万円の減となりましたが、居宅介護サービス給付費などの保険給付費(1億8千万円)が増となったことにより、1億5千万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表43、図20をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図21をご覧ください。

表43 介護保険特別会計の決算状況

##### 歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
保 険 料	500,570	18.5	419,310	16.8	81,260	19.4
分担金及び負担金	4,825	0.2	5,178	0.2	△ 353	△ 6.8
使用料及び手数料	48	0.0	39	0.0	9	23.1
国 庫 支 出 金	571,110	21.1	530,651	21.3	40,459	7.6
支 払 基 金 交 付 金	727,013	26.9	660,948	26.5	66,065	10.0
県 支 出 金	391,159	14.5	328,524	13.2	62,635	19.1
財 産 収 入	314	0.0	326	0.0	△ 12	△ 3.7
繰 入 金	469,610	17.4	449,282	18.0	20,328	4.5
繰 越 金	39,512	1.5	101,868	4.1	△ 62,356	△ 61.2
諸 収 入	1,005	0.0	526	0.0	479	91.1
歳 入 合 計	2,705,165	100.0	2,496,651	100.0	208,514	8.4

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致場合があります。

##### 歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
総 務 費	61,282	2.3	62,972	2.6	△ 1,690	△ 2.7
保 険 給 付 費	2,408,015	92.2	2,227,986	90.7	180,029	8.1
地 域 支 援 事 業 費	104,338	4.0	103,506	4.2	832	0.8
基 金 積 立 金	10,000	0.4	10,000	0.4	0	0.0
公 債 費	0	0.0	0	0.0	0	-
諸 支 出 金	26,918	1.0	52,675	2.1	△ 25,757	△ 48.9
歳 出 合 計	2,610,553	100.0	2,457,140	100.0	153,413	6.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致場合があります。

図20 介護保険特別会計の科目別決算状況

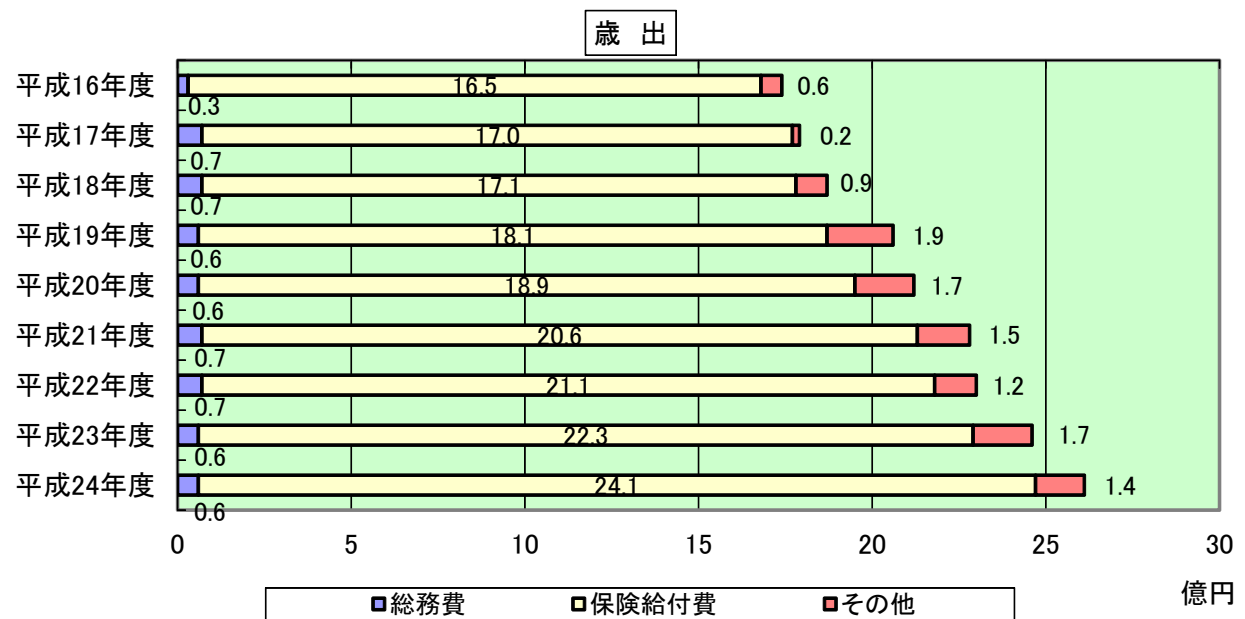
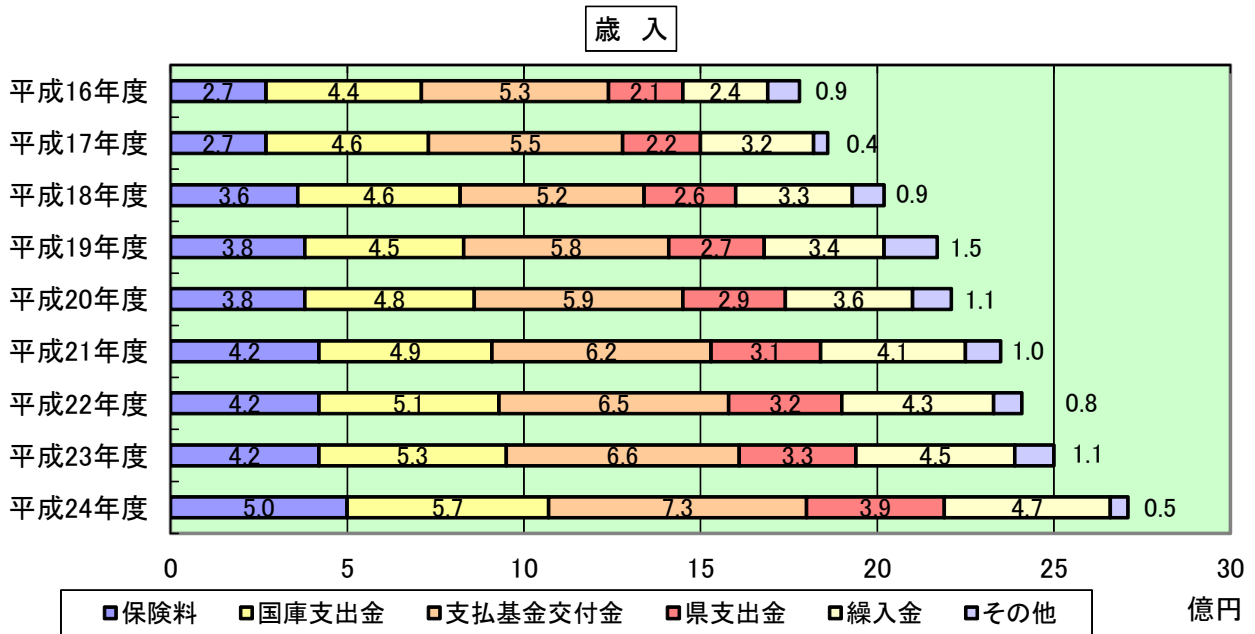
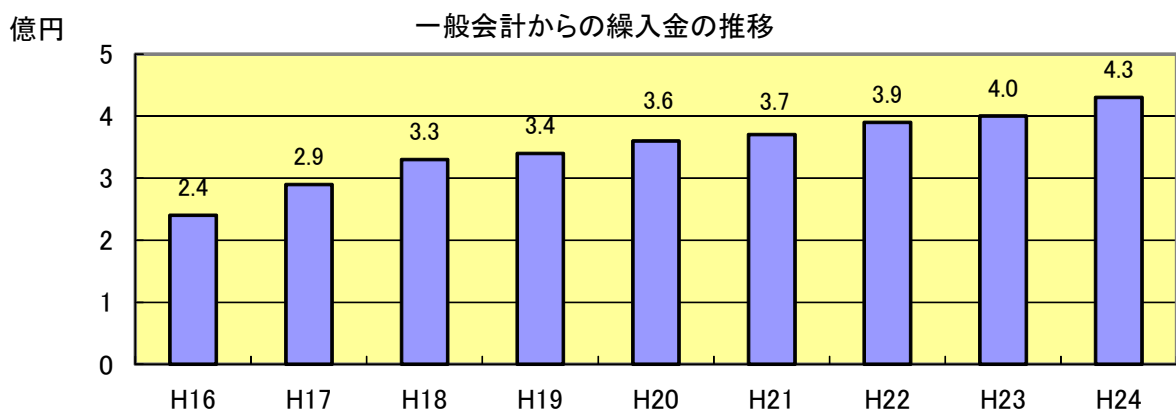


図21 一般会計からの繰入金の推移



### (5) 農業集落排水事業特別会計の決算状況

平成24年度の歳入決算額は、2億7千万円で前年度に比べ2千6百万円(8.8%)の減となりました。歳出決算額は、2億4千万円で前年度に比べ2千3百万円(8.7%)の減となりました。

歳入は、県支出金である農業集落排水施設費県補助金(1千4百万円)、一般会計からの繰入金(7百万円)の減となったことなどにより、2千6百万円の減となりました。

歳出は、維持修繕事業や緊急時対策強化事業等の施設費(2千4百万円)が減となったことなどにより、2千3百万円の減となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表44、図22のとおりです。また、一般会計からの繰入金金の推移は、図23をご覧ください。

表44 農業集落排水事業特別会計の決算状況

#### 歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
分担金及び負担金	300	0.1	1,200	0.4	△ 900	△ 75.0
使用料及び手数料	54,866	20.2	55,774	18.7	△ 908	△ 1.6
県 支 出 金	0	0.0	13,900	4.7	△ 13,900	△ 100.0
繰 入 金	186,808	68.7	193,967	65.0	△ 7,159	△ 3.7
繰 越 金	30,112	11.1	33,420	11.2	△ 3,308	△ 9.9
歳 入 合 計	272,086	100.0	298,261	100.0	△ 26,175	△ 8.8

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

#### 歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
施 設 費	101,115	41.3	125,154	46.7	△ 24,039	△ 19.2
公 債 費	143,792	58.7	142,995	53.3	797	0.6
歳 出 合 計	244,907	100.0	268,149	100.0	△ 23,242	△ 8.7

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図22 農業集落排水事業特別会計の科目別決算状況

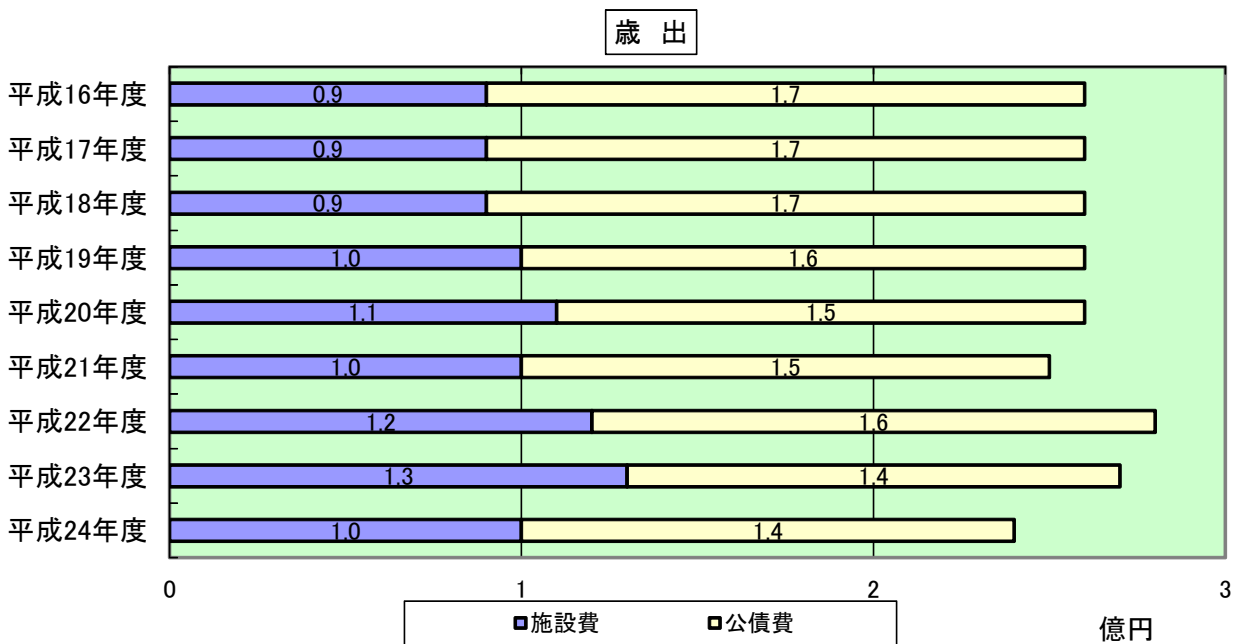
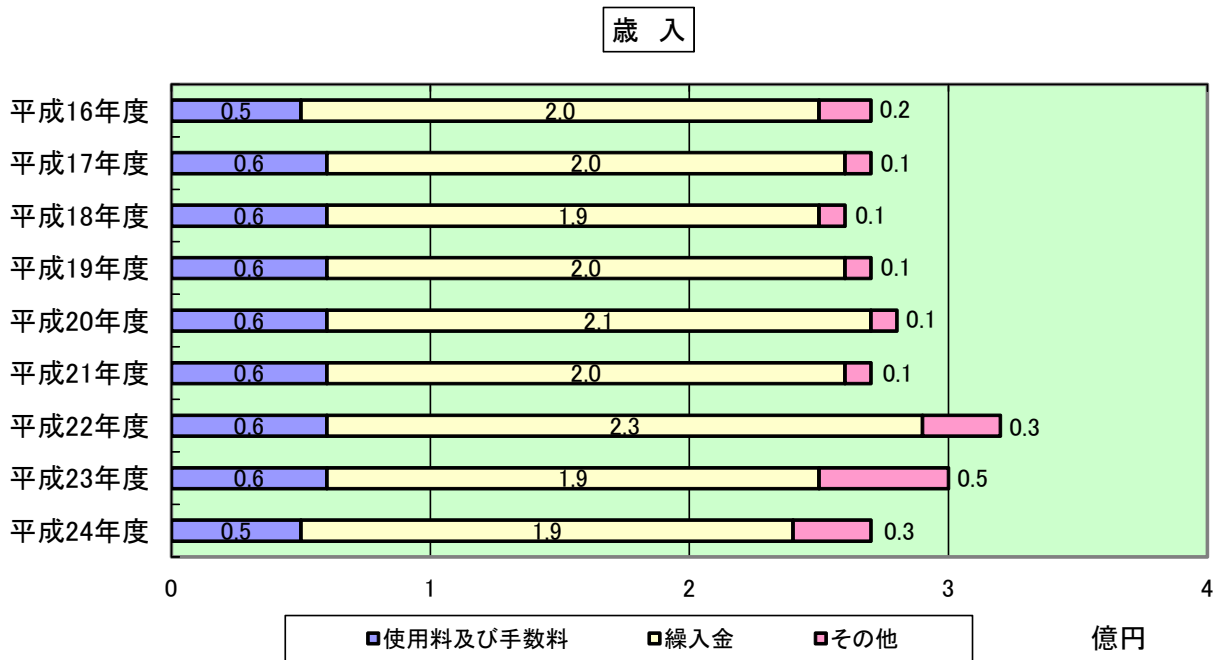
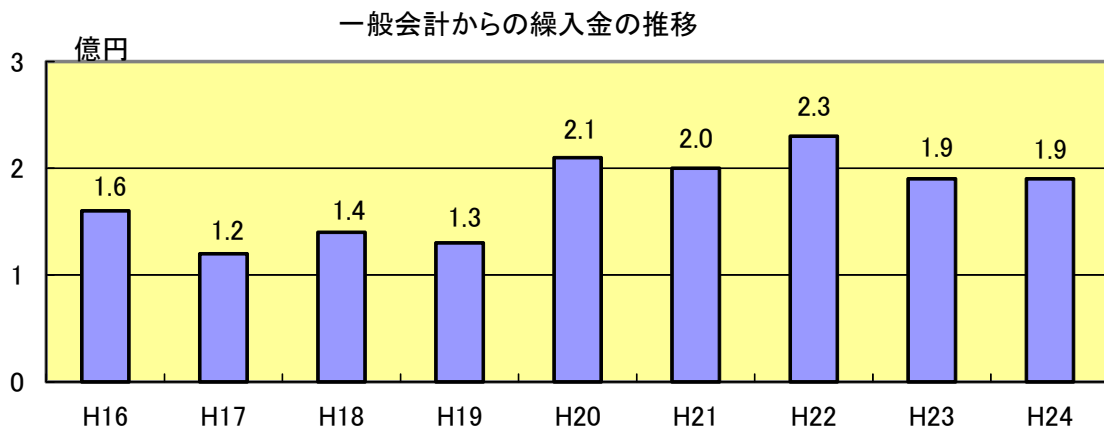


図23 一般会計からの繰入金の推移



## (6) 下水道事業特別会計の決算状況

平成24年度の歳入決算額は、17億3千万円で前年度に比べ3千万円(1.7%)の増となりました。歳出決算額は、16億1千万円で前年度に比べ3千万円(1.8%)の増となりました。

歳入は、公共下水道事業受益者負担金の減による分担金及び負担金(1千万円)、一般会計繰入金(3百万円)が減となりましたが、下水道費国庫補助金などの国庫支出金(2千万円)、前年度繰越金(2千万円)が増となったことにより、3千万円の増となりました。

歳出は、管理費や建設改良費等の事業費(2千2百万円)、公債費(6百万円)が増となったことなどにより3千万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表45、図24をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図25をご覧ください。

表45 下水道事業特別会計の決算状況

### 歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決 算 額 A	構成比	決 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
分担金及び負担金	38,011	2.2	48,667	2.9	△ 10,656	△ 21.9
使用料及び手数料	443,023	25.6	433,747	25.5	9,276	2.1
国庫支出金	37,700	2.2	16,550	1.0	21,150	127.8
県支出金	51,563	3.0	51,563	3.0	0	0.0
繰入金	1,014,061	58.7	1,016,907	59.8	△ 2,846	△ 0.3
繰越金	116,475	6.7	97,908	5.8	18,567	19.0
諸収入	0	0.0	0	0.0	0	-
市債	28,100	1.6	34,500	2.0	△ 6,400	△ 18.6
歳入合計	1,728,933	100.0	1,699,841	100.0	29,092	1.7

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致場合があります。

### 歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	決 算 額 A	構成比	決 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
事業費	564,083	35.0	541,736	34.2	22,347	4.1
公債費	1,047,653	65.0	1,041,630	65.8	6,023	0.6
歳出合計	1,611,736	100.0	1,583,366	100.0	28,370	1.8

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致場合があります。

図24 下水道事業特別会計の科目別決算状況

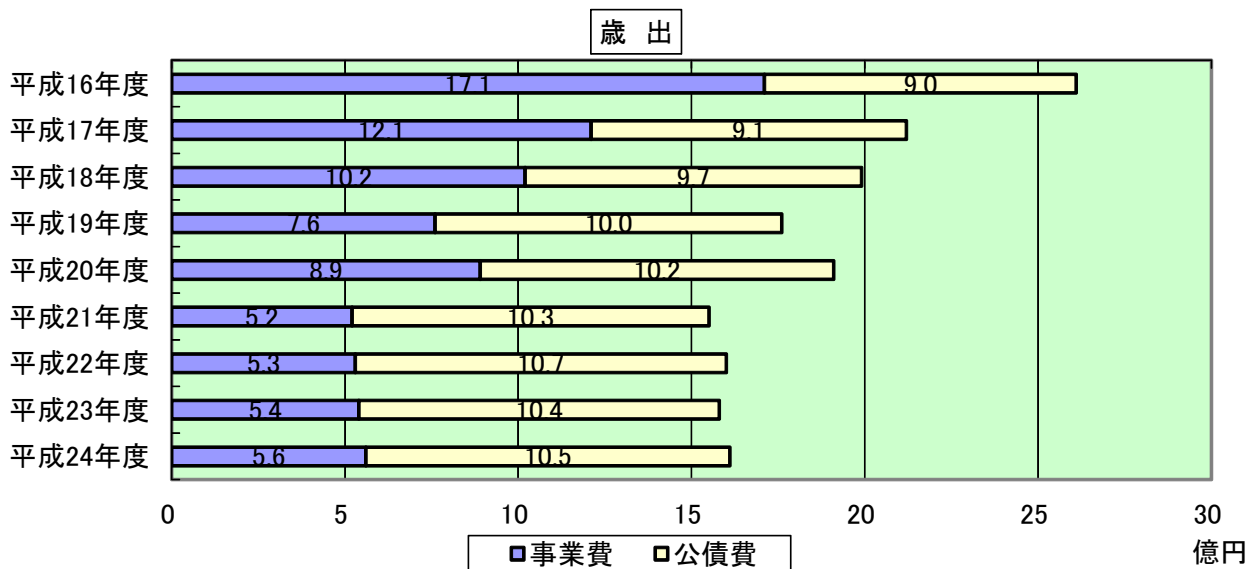
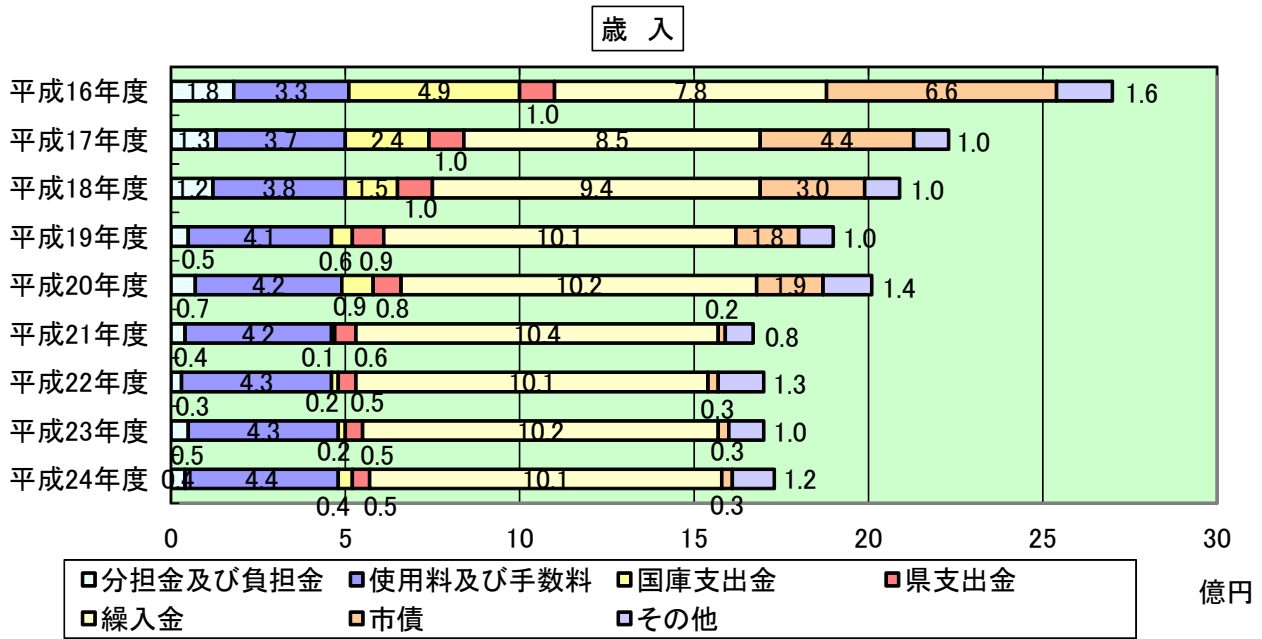
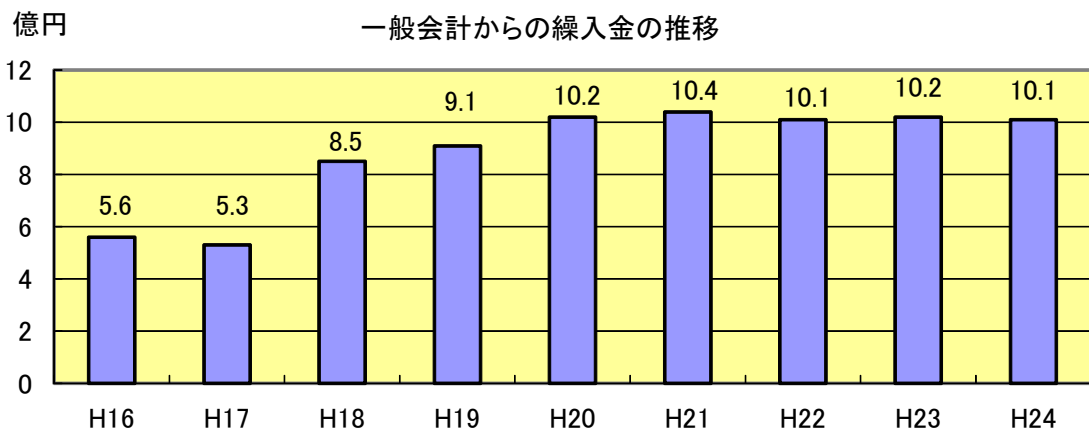


図25 一般会計からの繰入金の推移



## (7) 水道事業会計の決算状況

平成24年度の損益計算書は、収益が8億8千万円で、前年度とほぼ同額となりました。費用は7億9千万円で、前年度に比べ1千万円(1.4%)の減となりました。

収益は、他会計補助金(2千万円)の減による営業外収益の3千万円減となりましたが、給水収益(3千万円)の増による営業収益の3百万円の増となりました。

費用は、原水及び給水費、総係費、減価償却費が減となったことにより営業費用が百万円の減となりました。また、支払利息及び企業債取扱諸費、受託工事費などが減になったことにより営業外費用が1千万円の減となりました。

前年度と比較した損益計算書は表46、貸借対照表は表47をご覧ください。また、一般会計からの補助金の推移については図26、損益勘定留保資金の推移は図27をご覧ください。

表46 水道事業会計損益計算書

(単位：千円)

	平成24年度	平成23年度	増減	伸び率
水道事業収益	883,178	880,482	2,696	0.3
水道事業費用	793,688	804,694	△11,006	△1.4
当年度純利益(△損失)	89,490	75,788	13,702	18.1
前年度繰越利益剰余金(△欠損金)	280,514	208,516	71,998	34.5
当年度未処分利益剰余金(△未処理欠損金)	370,004	284,304	85,700	30.1

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算に不一致場合があります。

表47 水道事業会計貸借対照表

(単位：千円)

	平成24年度	平成23年度	増減	伸び率
資産	15,337,450	15,149,961	187,489	1.2
負債	361,887	248,569	113,318	45.6
資本	14,975,564	14,901,392	74,172	0.5
うち、借入資本金(企業債)	4,308,273	4,520,161	△211,888	△4.7

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算に不一致場合があります。

図26 一般会計からの補助金の推移

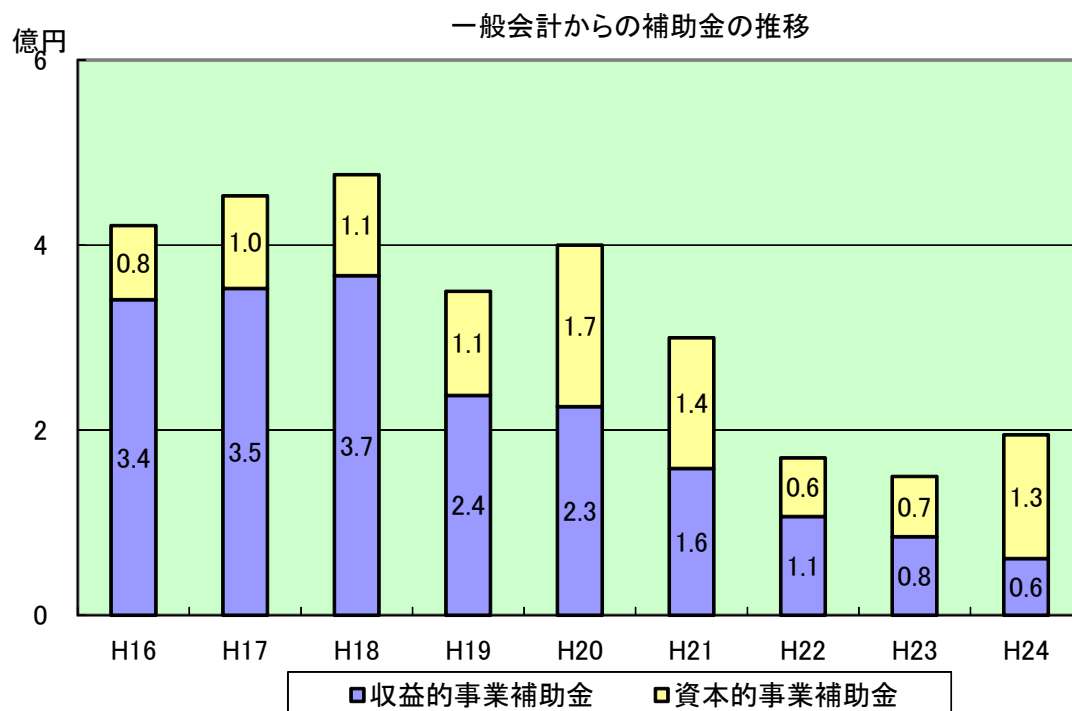
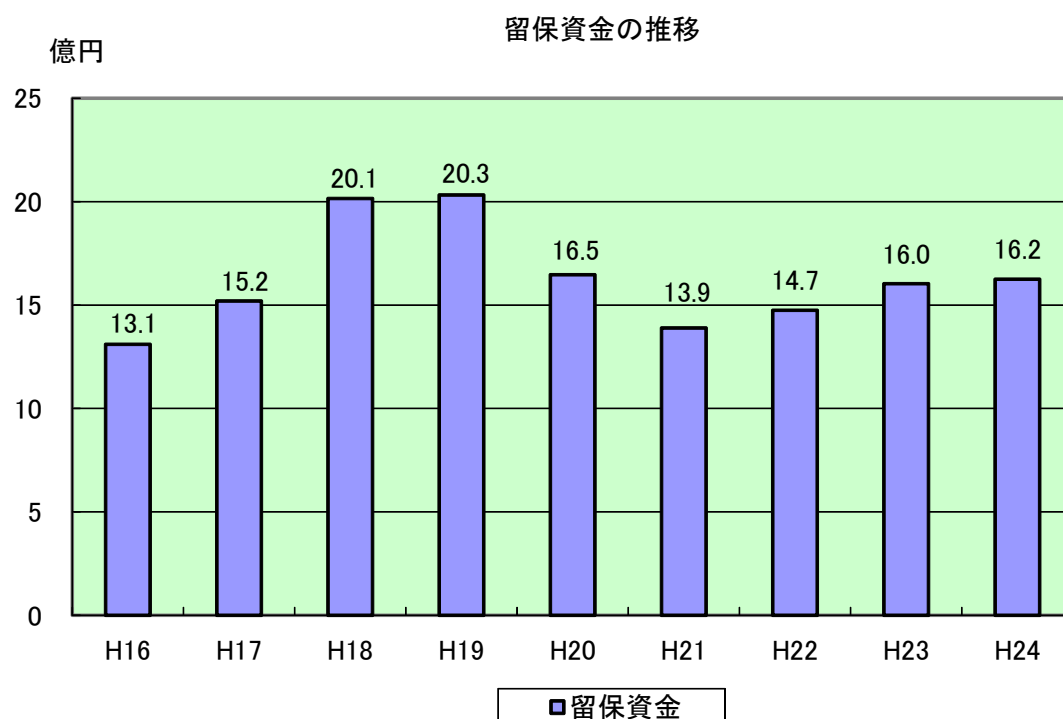


図27 損益勘定留保資金の推移



留 保 資 金・・・ 現金支出を伴わない減価償却費や資産減耗費等、将来の施設更新に備え企業の内部に留保される資金です。資本的収入が支出に対して不足する場合の補てん財源になります。